

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について 第2報 (令和6年5月23日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部(令和6年5月23日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		年々、指標等に対する遅速等			令和6年度の品種構成の情報
北海道		(5月15日現在) (全国) 苗の生育は平年並で、出芽の良否はや良。また、一部地域で移植作業が始まった。 (北海道 5月21日付)		【全国】この春の間にエルニニョ現象が終息して平常の状態になる可能性が高い(90%)。その後、秋にかけて平常の状態が長く可能性もあるが(40%)、エルニニョ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。 (気象庁 5月10日付)	
	(育苗)			【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は日本海側と太平洋側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめひりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 令和6年3月12日) (出典資料は以下同じ)
青森		(5月15日現在) ・田植え遅れ状況は、県全体で14%となっており、平年より5ポイント高かった。 ・県全体の田植え始めは、平年より2日早い5月13日であった。 (青森県 5月16日付)		【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。 「青天の霹靂」「はれわた」が増加傾向となっている。
	(移植)			向こう1か月もみ結節菌の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)	
岩手		(5月20日現在) 【田植えの進捗状況】(県内農業改良普及センターによる一斉調査) ・5月20日現在の田植えの進捗率は県全体で75%となっている。 ・地域別では、北上川上流 61%、北上川下流 82%、東部 79%で盛期を過ぎた。また、北部は42%で間もなく盛期に達する。 (岩手県 5月21日付)		【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 県のオリジナル品種である「銘河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
	(移植)			向こう1か月もみ結節菌の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)	
宮城		(5月15日現在)【田植え進捗状況】 ・県全体の田植え進捗率は69.0%となっている。 ・田植え盛期は5月12日で平年より1日遅く、前年と同じだった。 (宮城県 5月16日付)		【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
	(移植)				
秋田		(4月25日現在) 【農作業の進捗】(各地域振興局農林部農業振興普及課調査) ・水稲移植作業の始期は4月11日(平年4月12日)、盛期は4月21日(平年4月22日)と、始期、盛期ともに1日早かった。 (4月25日現在) 【苗の生育】(気象感応試験における苗の生育状況) ・4月10日播種の中苗「あきたこまち」苗の生育は、平年を上回り、草丈は9.3cm(平年差+133%)、葉数は2.0葉(平年差+0.2葉)だった。 ・4月5日播種の中苗も同様に平年を上回って生育している。 ・4月2半前か3半前か平均気温が平年を上回って経過したことにより、この頃に播種した苗の出芽や生育は順調である。 しかしこの期間には日照も多く、被覆資材下の育苗箱内温度が上昇しやすかったことから高温障害による発芽不良が心配された。 (秋田県 4月30日付)		【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
	(育苗)			向こう1か月もみ結節菌の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)	
山形				【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。 新品種「響若丸」は増加傾向にある。
福島		(5月9日現在) ・稲穂栽培の移植作業は、始期(5%終了)が4月7日(平年差-1日)、盛期(50%終了)が4月15日(平年差-1日)、終期(95%終了)が4月26日(平年差+1日)となった。 ・生育は概ね順調だが、一部に、発芽の不揃いや病害の発生、苗焼け、徒長苗が見られる。 (福島県 5月10日付)		【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。 近郊、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。
	(育苗)				
茨城				【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 多様な多収米への作付け移行が進んでいる。
栃木				【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。 多様な多収米への作付け移行が進んでいる。

(生育状況等)			
千葉	<p>【生育経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全園にわたって気温が高く推移した。そのため、苗丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿えたほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 →7、5月植えは低温で根量も多かったため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉齧や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月20日現在) 【品種別の生育状況、平年比】 平年比は過去10年間(2014～2023年)の平均値との比較。「粒すけ」は過去9年間(2015～2023年)のデータと比較したものの、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月20日播付「ふさおとめ」葉節の進み：早、草丈：長、茎数：多 ・4月20日播付「ふさおとめ」葉節の進み：やや早、草丈：長、茎数：多 ・4月20日播付「コシヒカリ」葉節の進み：やや早、草丈：やや長、茎数：多 ・5月1日播付「コシヒカリ」葉節の進み：並、草丈：並、茎数：やや多 ・4月20日播付「粒すけ」葉節の進み：早、草丈：長、茎数：多 <p>(千葉県 5月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ふさおとめ」が中心とする品種構成となっており、令和2年度からの新品種「粒すけ」の本格栽培が開始
新潟	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんずり」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。 	
富山	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」を中心とする品種構成と安定している「てんかぐり」及び「てんこもり」県のトップブランドに位置づけられている「富高」が増加傾向にある。 	
石川	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ゆめつばき」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「トキヨロ」が増加傾向にある。 	
福井	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ハナタチシロ」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「もちほまれ」が増加傾向にある。 	
長野	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。 	
滋賀	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月綿葉枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずがみ」の作付けが推進されている。 	
兵庫	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月綿葉枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「きぬむすめ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推奨している。 	
岡山	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 中国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」及び「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。 	
広島	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】 中国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。 	

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【水稲 いもち病（育苗～本田初期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、育苗期や移植後の早期水稲での発生は確認していない。 <p>(愛媛県 4月30日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの穂」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>(4月)</p> <p>【水稲（早期稲）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年に比べ4月の日照時間が少なく、トリコゾウムシによる苗立枯病やビシウムによるムレ菌、いもちの発生が見られたほか、一部地域でガス害による葉枯れが確認されている。 <p>・移植は3月第5半期より始まり、移植盛期は中西部で4月第4半期、その他の地域では4月第2～3半期でほぼ平年並であった。</p> <p>(移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクミンコガイの越冬量は暖冬の影響により多かったと考えられるが、現在のところ大きな被害は確認されていない。 ・4月第2半期の強風の影響が懸念されたが、現在の生育は概ね順調である。 <p>(高知県病害虫防除所 5月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・田植は4月11日頃から始まり、4月下旬が最盛期で、5月上旬頃まで行われる予定。 ・苗は、病害も見られず生育良好。 <p>(福岡県農林業総合試験場 4月18日付)</p> <p>(移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気づくし」を中心とする品種構成であるが、「元気づくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は5月19日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>(4月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は活着期。 <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 4月26日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みか359」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月25日～6月24日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、改良米率の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：県及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を基に情報提供を取り纏め。
注2：生育状況等（播種後等発生資料の抜粋）については令和6年5月23日18時時点での取り纏め。
注3：更新前回は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況(5月15日現在)(北海道 5月21日)、
5月15日現在田植進捗状況(青森県 5月16日)、
田植えの進捗状況(5月20日現在概況速報)について(岩手県 5月21日)、
令和6年度産水稲の田植状況について(5月15日現在)(宮城県 5月16日)、
作況ニュース(第1号)(秋田県 4月30日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第2号(令和6年5月9日現在)(福島県 5月10日)、
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県 5月22日)、
病害虫発生予報(5月)(愛媛県 4月30日)、
病害虫発生予報情報について令和6年度病害虫発生予報4月月報(高知県病害虫防除所 5月8日)、
主な農産物の生産状況(令和6年4月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 4月18日)、
令和6年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月26日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(5月23日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(5月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(5月23日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(5月23日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(5月23日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(5月23日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(5月23日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(5月23日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(5月23日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月21日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月21日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月21日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月21日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月21日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月21日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月21日鹿児島地方気象台)、

エルニーニョ監視速報(Na380)(気象庁 5月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第2号(農林水産省 5月15日)、
令和6年度産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)